

平成16年3月期

第3四半期の業績の概況(連結)

平成16年2月6日

上場会社名 株式会社エスケイジャパン

(コード番号:7608 東証・大証 第二部)

(URL http://www.sk-japan.co.jp)

代表者 代表者役職・氏名 代表取締役社長 久保 敏志

問合せ先責任者 責任者役職・氏名 取締役管理部長 川上 優 (TEL (06)6765-0670)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 業績

(千円未満切捨て)

(1)平成16年3月期第3四半期(平成15年4月1日~平成15年12月31日)の業績

	15年3月期第3四半期 (前年同四半期)	16年3月期第3四半期 (当四半期)	対前年同期増減率	参考 前期(通期)
売上高	千円 6,123,413	千円 7,777,583	% 27.0	千円 7,968,650
営業利益	477,029	801,697	68.1	526,158
経常利益	466,097	797,593	71.1	494,590

(2)販売の状況

業態別売上高

(単位:千円、%)

			15年3月期第3四半期 (前年同四半期)		16年3月期第3四半期 (当四半期)		参考 前期(通期)	
			売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
ア ミ ユ ー ズ メ ン ト	オ ペ レ ー タ ー	メーカー系	346,758	5.6	403,501	5.2	426,870	5.4
		量販店系	317,750	5.2	472,307	6.1	419,993	5.3
		ショッピングセンター系	591,449	9.6	801,546	10.3	786,795	9.9
		路面店	3,384,670	55.3	4,030,555	51.8	4,405,641	55.3
		遊園地等	71,591	1.2	52,721	0.7	83,503	1.0
	ディスプレイコーナー	342,937	5.6	409,367	5.3	435,795	5.5	
	SP部門	133,297	2.2	129,503	1.7	167,902	2.1	
小計			5,188,455	84.7	6,299,503	81.1	6,726,501	84.5
物 販	問屋		132,871	2.2	252,882	3.2	169,402	2.1
	小売店		795,226	13.0	1,193,989	15.3	1,044,045	13.1
	小計		928,098	15.2	1,446,873	18.5	1,213,448	15.2
その他			6,860	0.1	31,206	0.4	28,700	0.3
合計			6,123,413	100.0	7,777,583	100.0	7,968,650	100.0

(注)1.メーカー系とは、アミューズメント機器を製造している企業のことです。

2.量販店系とは、大手量販店(スーパー等)のアミューズメント部門のことです。

3.ショッピングセンター系とは、量販店やショッピングセンターのテナントとして店舗展開している企業のことです。

4. ディストリビューターとは、アミューズメント施設へのアミューズメント機・景品等の販売を主業とし、アミューズメント施設を運営していない法人または個人のことです。

5. SPとは、セールスプロモーションの略称であり、SP部門は企業プレミアム商品の企画・販売を担当する部署のことです。

6. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

商品分類別売上高

(単位：千円、%)

	15年3月期第3四半期 (前年同四半期)		16年3月期第3四半期 (当四半期)		参考 前期(通期)	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
自社企画商品	101,164	1.7	132,813	1.7	120,683	1.5
キャラクター商品	1,194,693	19.5	891,509	11.5	1,353,768	17.0
仕入商品	4,827,555	78.8	6,753,260	86.8	6,494,198	81.5
合計	6,123,413	100.0	7,777,583	100.0	7,968,650	100.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 主な資産・負債の変動について

項目	16年3月期第3四半期	増減額	前期末
	千円	千円	千円
(資産)			
現金及び預金	1,533,720	584,255	949,464
受取手形及び売掛金	2,080,738	879,288	1,201,450
棚卸資産	354,870	117,775	237,094
繰延税金資産(流動)	114,230	68,473	45,757
保険積立金	196,603	49,747	146,856
(負債)			
買掛金	1,572,027	680,656	891,371
短期借入金	496,994	319,292	177,702
未払法人税等	288,210	143,528	144,682

(注) 当四半期および前年同四半期に係る数値については、監査法人による会計監査を受けておりません。

3. 業績の概況

(1) 当四半期の状況

当四半期の状況は、アミューズメント業界向け販売事業・物販業界向け販売事業ともに好調であり、売上高7,777百万円(前年同期比27.0%増)、経常利益797百万円(前年同期比71.1%増)と増収増益となりました。

(2) 部門別の状況

[アミューズメント業界向け販売事業]

当四半期におけるアミューズメント業界向け販売事業は、ヒットキャラクター不在という状況でしたが、仕入商品の構成を高めて品揃えを拡充し、取引先のニーズに迅速に対応することによって市場シェアの拡大に努めました。また、集客力の高い郊外の複合施設や都心の大型アミューズメント施設等への販売を強化した結果、量販店系オペレーター、ショッピングセンター系オペレーターへの売上高はそれぞれ前年同期比48.6%増、35.5%増と好調に推移しました。

また、SP部門におきましては、パチンコ機器メーカーや出版会社等への販売促進商品等の別注は決まりました。

たが、当期よりカタログでのギフト販売を中止し、別注中心の展開に切り替えたため、前年同期に比べてカタログ販売分がマイナスとなり、売上高は129百万円（前年同期比2.9%減）と減収となりました。

以上の結果により、売上高は6,299百万円（前年同期比21.4%増）と増収となりました。

〔物販業界向け販売事業〕

当四半期における物販業界向け販売事業は、販売面では大手チェーン店や量販店への積極的な営業活動に加え、新規顧客の開拓を推進いたしました。

商品面では、バラエティ雑貨が品揃えの拡充により、618百万円（前年同期比45.2%増）、携帯電話関連グッズは自社企画商品が好調で437百万円（前年同期比81.3%増）と大きく伸長し、また、クリスマス商材もチェーン店への納入により、売上の増加に貢献しました。

以上の結果により、売上高は1,446百万円（前年同期比55.9%増）と大幅な増収となりました。

4. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	9,300	795	427

〔業績予想について〕

第3四半期の業績は、当初の予想を大きく上回り、平成15年8月8日付発表の通期の業績予想にも影響を与える可能性が高まったため、当初の業績予想を修正しております。

（参考）平成16年3月期の個別業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金		
				中 間	期 末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
通 期	7,700	782	427	8 00	6 00	14 00

（注）中間期配当金の内訳 普通配当 6円00銭 記念配当 2円00銭

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。